

塩害で劣化している橋梁での利用

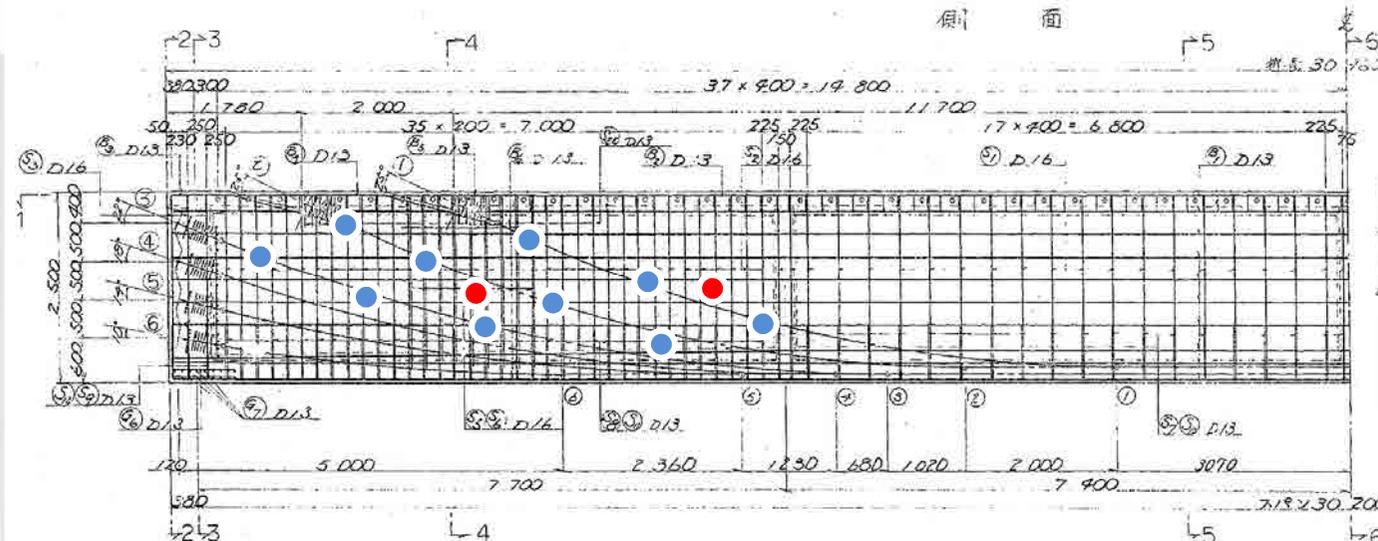


従来の詳細調査

ポステン桁半桁の調査

計測工数：約1日
 約10箇所のコア抜き

微破壊検査の為、**コンクリートや鋼材を痛めるリスクあり。破壊箇所を復旧する作業も伴う。**

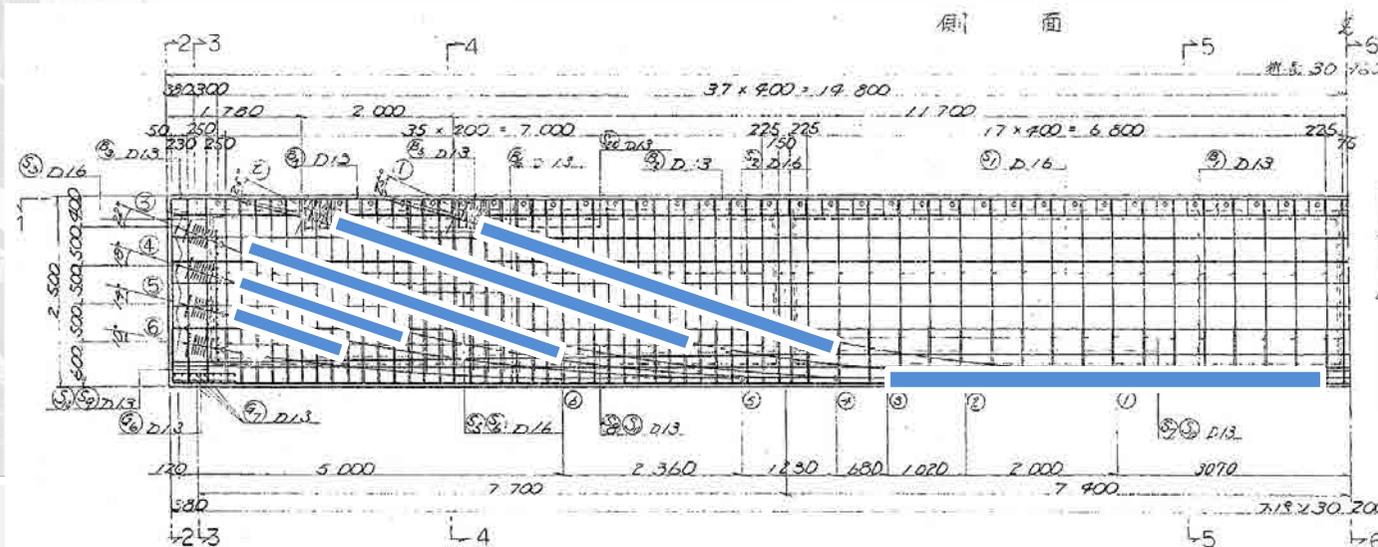


SenrigaNによる詳細調査

ポステン桁半桁の調査例

計測工数：約3時間
 ほぼ全面計測完了

完全非破壊の為、
橋の耐荷力を損なうリスクなし



健全度Ⅱ・Ⅲの橋梁から選定し、昨年の7/30-31で実証実験を実施



第4径間を計測

効率的な調査ポイント

- ・ 高所作業車で計測が可能。足場を組んだりしなくても調査できる。
- ・ 誰でも計測でき、2人いれば問題なく調査ができる。
- ・ その場ですぐに結果確認。外観変状と突き合わせながら、内部状況の把握ができる。

内部鋼材破断の有無を検査する事で、健全度調査の質を高める事ができる

優先的に補修すべき橋梁の把握

具体的な補強方法の策定

健全度に応じた具体的な対策が可能

通行止め

詳細検査

補修/補強

予算申請

安心安全な社会インフラ作りに貢献

11 住み続けられる
まちづくりを



低コストで利用しやすいビジネスモデル

SenrigaN 活用シーンを
塩害や、ASRなどによる内部鋼材の劣化状況をFACTとして示し、
信頼と先進技術を持って一緒に実績を積み上げていく。

予防保全型のアセットマネジメントを皆さんと実現してきたい。

御礼

本課題への取り組みにあたり、福岡市様に多大なご協力を得て、実橋での実証実験、自治体様での新技術利用について、理解を深める事ができました。改めて御礼申し上げます。

また、内閣府様には、国交省 道路局様へのお引き合わせを調整くださり、現在の公募に繋がっております。

今後も、加速するインフラ老朽化の保全に貢献できるよう、鋭意努力してまいります。

この場を持って、御礼申し上げます。